

## 第22回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第22回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、検討テーマを「長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）を踏まえた今後の地方の取組み」、サブテーマを「環境にも配慮したエネルギーが安価かつ安定的に供給される社会の実現に向けて」として、特に太陽光発電に重点を置いた議論を行いました。
- 今回の研究会では、まず事務局から「これまでの経過」として、前回の議論の概要について、報告がありました。
- 次に、経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房 総務課 戦略企画室の田中室長から、「新たなエネルギー基本計画について」御講演をいただきました。  
講演では、我が国のエネルギー需給構造が抱える課題や今後のエネルギー政策の基本的な方向性などを御教示いただきました。  
今後の地方の取組みを考える上でも、貴重な情報を御提供いただけたと、田中室長には感謝しております。
- 次に、一般社団法人 太陽光発電協会の杉本幹事から、「太陽光発電の今後の展望について」御講演をいただきました。  
講演では、環境・エネルギーにおける世界の情勢を始め、太陽光発電の長期安定電源化やFIT制度からの自立に向けた展望をお示しいただくなど、福岡県での太陽光発電事業を考える上で、大変有益なお話をいただきました。
- 次に、事務局から、「福岡県における太陽光発電設備の導入状況」について、報告がありました。
- 次に、株式会社システム・ジェイディーの伊達代表取締役から、「IoTを活用した太陽光発電遠隔監視システム」について、御講演をいただきました。  
講演では、現場の状況やこれまでの取組みをお示しいただくなど、太陽光発電設備の適切なメンテナンスを考える上で、大変有益なお話をいただきました。
- 次に、これらの講演・報告を基に、再生可能エネルギーの主力電源化に向けて、地方が果たすべき役割について委員間で討議を行いました。
- 最後に、北九州市の作花委員代理から、次回の研究会に向けて「風力発電関連産業の『総合拠点』を目指して」について、ご報告いただきました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「長期エネルギー需給見通しを踏まえた今後の地方の取組み」として、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた検討の方向性が示されましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組みに活かしていただきたいと思います。